

日中国際交流協会報

協会報第 2014 - 5 号 2014 年 6 月 7 日 発行所一般社団法人日中国際交流

編集人 長谷川 隆淑・中村 陽

1 日のメーデー（労働説）に始まり春本番の 5 月、中国国内の徹底された行政コントロールで抑制され価格が現状に固定され低迷が続く不動産市況、従来の物作りの基盤である工業生産業の構造転換や改革発展のスピードアップに必要な、研究開発・市場調査・情報技術・貨物配送物流業・アフターサービス・省エネ環境保護・宣伝広告・リース金融など総合生産サービス業の目覚ましい発展関連報道がありました。その他注目すべきは、習近平主席の新疆ウイグル自治区のウルムチ市視察訪問を台無しするタイミングでウイグル族反抗テロ勢力の爆破事件が頻発、更に中国の南沙諸島周辺での海底油田探査基地の設置強行に起因するベトナム漁船と中国公務船舶の衝突事件が発生し、ベトナム市民の怒りがこうじ中国企業を襲う反中デモ暴動が起こっております。結果として南沙諸島でのフィリピンや尖閣諸島での日本など領海を巡る領海紛争と併せ、海洋周辺 3 カ国間と領有権抗争が同時発生している。これら内憂外患一連の問題から耳目を離れさせ厄介な機運を有効的に改めるイベントとして「友好国ロシアのプーチン大統領」の訪中が実現され、習近平主席や李克強首相と会談を行い、両国の親密な協力と連携関係を増進する数々の協定や取り決め合意を表明しています。会報 5 号ではロシアのプーチン大統領訪中関連の事柄を纏めてみました。

目次： 1、海江田万里会長の寄稿。

2．ロシア大統領プーチン氏の訪中、中ロ首脳会談の内容と成果

3. 通信欄

【海江田万里の政経ダイアリー】2014.6.20 号 第 186 回通常国会を終えて

1 月 24 日からスタートした第 186 回国会が本日実質的に終了しました。今国会は、2014 年度予算のかかる通常国会でしたから、3 月末までは予算案の審議を中心に国会論戦が行われました。今年度は、消費税増税の予算であることから、私たち民主党は、消費税で増えた税収をしっかりと社会保障の安定と充実のために使うべきであると主張しました。政府の予算案では社会保障充実のための予算が消費税増税分の 10%、5000 億円しか盛り込まれていませんから、これを 3 党合意の約束通り倍の 1 兆円程度に増額するよう「予算の組み替

え動議」を提出しました。

予算が成立してからは、「集団的自衛権」一色の国会になりました。とは言え、国会に対して政府が正式に集団的自衛権の行使について、議論を呼びかけたことはありません。5月15日に総理が一方的に記者会見を開き、「集団的自衛権行使を閣議決定したい」と発言し、閣議決定のためには同じ与党の公明党の賛成が必要だということで、与党間の協議に入ったわけです。結局与党の協議も中身が三転四転して今日に至るもまだ結論が出ていません。

もちろん、国会でも予算委員会などで、何度かこの議論をしました。私も先日の党首討論でテーマを集団的自衛権一本に絞って、論戦を挑みましたが、総理は私の問いに正面から答えませんでした。私は「こんな大問題を閣議決定だけで済ませるやりかたではだめだ。どうしても集団的自衛権を行使したいのなら正々堂々と憲法改正の手続きに入って国民投票で決着をつけるべきだ」と主張しました。この問題は、これから秋の臨時国会に引き継がれますから、民主党も意見を早くまとめる必要があります、国会閉会中も議論することになっています。

今国会では、「労働者派遣法」の改正案も政府によって提案されましたが、衆議院の段階で審議未了廃案になりました。また超党派の議員による提案の法案や民主党がこれまで主張してきた「宅地建物取引主任者」を「宅地建物取引士」に呼称変更する『宅建業法』改正や『水循環基本法』などが成立しました。

国会は、休会になりましたが、国会議員に休みはありません。地元や全国を回って、国民の意見に耳を傾けます。 衆議院議員 海江田万里

- ロシア大統領プーチン氏の訪中 -

5月20日習近平主席に招きでプーチン大統領が中国を公式訪問し、両国家元首は上海で会談し、中華人民共和国とロシア連邦の全面的戦略協力パートナーシップの新段階へ発展させる共同声明を発している。

概要

1) 中ロ双方は2001年7月16日の「中ロ善隣友好協力条約」で決めた、主権擁護・領土保全・国家安全保障など核心的利益に関する問題で引き続いて相互に支持しており、内政不干渉を原則とし「国連憲章」で確立された国際法の基本準則を守り、文化と文明の多様性・伝統的価値観と独特の人権促進モデルを尊重し、自国発展の方向を決め自国の歴史的・文化的・道徳的価値観を守る相手国の自主権を認め合い、建設的な対話と協力を通じて問題を解決して行く。大

量破壊兵器の拡散防止や国際テロ犯罪を取り締まり、危機や紛争を解消し世界中の平和と安全を守る為、一方的な制裁及び他国の憲法制度の変更を奨励し資金援助を行ったり、一部の国家集団基準をユニバーサルスタンダードとして他国に押し付け特定の多国間ブロックや同盟へ引き込む行為を止めるべきと確認。

2) 中口国内の大規模な経済改革を進め、両国民の福祉を引き上げ、両国の国際的地位と影響力を高め、公平で合理的な国際秩序の確立に資する様に、ハイレベルの戦略的相互信頼対話を維持し両国各部門間の協力メカニズムの効果を高め、実務協力・人文交流・民間往来が大きな成果を収める密接な外交行動を協調的に進めて行く。国際経済・金融体制を改革し、実体経済に依じて国際経済ガバナンス体制において新興市場や発展途上国の代表性と発言権を強め、自信を取り戻さなければならない。

3) 中口両国は、第二次大戦の欧州とアジアの戦場でドイツ及び日本軍国主義との勝利70周年祝賀行事を共同で開催し、歴史の歪曲・戦後の国際秩序を破壊する行為に断固反対する。国連が世界の平和維持・共同发展・国際協力の推進で中心的役割を果たす事を支持し、国連安保理が国際平和と安全を守る任務を果たさせることが、国際社会の共通利益に合致すると確認する。改ざんや勝手な解釈をせず「国連憲章」と国際法の規範を守り、安保理が与えられた職責をよりよく履行する事を支持する。特に様々な国際テロ・国際的組織犯罪・腐敗・情報技術セキュリティーへの脅威やその他刑事犯罪取締についての国連の中心的調整作用を一層強化する事を主張する。

4) 中口両国間の貿易・投資・融資を両国通貨で直接決済する事など財政と金融分野の協力を進めマクロ経済政策の交流を強化し、2015年までに年間貿易額が1000億ドル、2020年までに2000億ドルにする努力をする。中口政府間経済近代化協力覚書を実行に移し、貿易の均衡を保障・貿易構造の最適化・ロシア国内の交通インフラ建設と鉱物資源開発や経済的住宅の建設へ向けた投資を増やして行く。

5) 中口エネルギー協力パートナーシップを打ちたて、石油分野の包括協力と共に中国への天然ガス供給を早急にスタートさせる。ロシアの炭鉱開発と輸送交通インフラの整備での協力とロシアの発電施設を新設し電力を中国への輸出を拡大する事を検討する。同時に地球温暖化のCO2排出削減などに関連して、「国連気候変動枠組み条約」の原則と目的に従い国際協力を強化し、気候変動の挑戦に共同し対応して行く。

6) ハイ・ニューテック分野の協力効果を高め、原子力平和利用・民間航空・宇宙開発の基礎技術・宇宙対地球観測・衛星ナビ・深部宇宙探査・有人宇宙飛行など重点プロジェクト協力を繰り広げ、宇宙の安全・平和利用・宇宙の兵器化防止などを優先目標として国際条約を結ぶ為に国際宇宙空間平和利用委員会の下で長期的で持続可能な宇宙活動の発展などにつき協力を強化していく。更に、情報通信技術が世界の安定と安全を守る事を踏まえ、国家主権や個人のプライバシーを侵す行為に重大な危惧を感じ、国際社会は平等互惠・相互尊重に基づき共同して情報セキュリティーの脅威に対応するべきである。普遍的な行動規範を定め、多国間・民主化・透明性の原則によりインターネットのガバナンスシステムを国際化し、平和・安全・開放に基づく情報環境を整える事を呼びかける。等々様々な科学技術交流を深め、経費と技術投入の対等性とイノベーションの全面性、知的財産権の保護を確保した上で将来性のある共同化学研究を繰り広げる。

7) 両国の地方間協力を積極的に進め、地域協力の範囲を広げ、仕組みを整え、計画性のある定期的なものへ転換していく。国境河川の渡橋の建設により国境越えの交通インフラ整備を加速し、中国側の貨物をロシアの鉄道網・極東の港湾・北方航路（NSR）経由で輸送する条件を整備できる。国境を跨ぐ水資源の合理的利用と保護・水質改善・生物多様性の保護と自然災害の予防と影響の軽減など国境を跨ぐ自然保護区建設の問題に関し建設的な協力を展開する。其の他両国国境合同委員会などの仕組みと機能を発揮させ、国際犯罪の取り締まりを含めた国境河川管理と合同検査を実施する。

8) 「中口人文協力行動計画」を重点的に実施し、2014～2015年に両国青年友好交流年の活動を推進する。中口首相定期会談メカニズムの充実、副首相級中口投資協力委員会・ハイレベルの中口経済協力戦略プロジェクト作業部会及びエネルギー分野の専門作業部会を設置する。同時に製薬・医療設備・科学工業・木材加工・造船・輸送機械製造・非鉄金属冶金等の分野で互恵的な共同生産プロジェクトを実施する。農業協力では、農産物貿易と農業生産への投資条件の改善と両国の農業企業の協力を支援する。

9) 国際社会が早期解決を求める「シリア危機問題、紛争、朝鮮半島問題、イランの核問題、アフガンの内紛問題、ウクライナ問題」について；

中口はシリアへの如何なる外部勢力による武力干渉にも反対し、化学兵器廃棄に向けたシリア政府の努力を支持し、差別の無い非政治化の姿勢で人道主義

に従い国内の人道問題と国外の難民問題を総合的に解決するように呼びかけて行く。

中口はパレスチナ・イスラエルの双方が、国際的に認められた法律に基づき、紛争の全面的・公正・永続的な解決を図ることは中東と北アフリカ地域の主な不安定要素を取り除き、地域各国の発展・繁栄をもたらす最も重要で意義あることと確信する。

中口は6カ国協議が朝鮮半島の平和と安定を守り、非核化を実現する唯一の現実的な方策である事を確認し、武力の方法で解決するべきでなく対話を通じて問題を解決する事は、関係国の共通の利益に合致し北東アジアやアジア太平洋地域の平和と安全の維持に極めて重要であり、6カ国協議の再開に向け共に努力する事を表明している。

中口はイランの核問題解決をめざすバランス措置と義務リストの「共同行動計画」が継続して実行される事に満足し、全ての交渉当事者が一層の妥協を図り協議と交渉プロセスに悪い影響を及ぼす行為を避けるように呼びかける。

中口はアフガニスタン情勢に関心を寄せ、早期にテロや麻薬犯罪の無い平和で安定した経済繁栄の国を作ることを主張する。各派へ暴力を捨てテロ組織と手を切り、アフガン人が主導し、包容性を持つ民族和解が一日も早く実現するよう「アフガン憲法」の下で大統領選挙と地方選挙が行うアフガン人民の歴史的選択を尊重することを呼びかける。特にアフガンの麻薬生産規模の拡大が世界の平和と安定に重大な脅威となっている事を確認し、国際社会と地域の協力を一段と強めアフガンの麻薬問題を共同で監視し取締ることを確認する。

中口は、ウクライナ内部の政治危機に重大な関心を表し、関係当事者が自制を保ち、紛争のエスカレートを回避し、平和的な政治対話の方法で実際の問題を解決するように呼びかける。ウクライナの全ての地域と社会政治組織が幅広く民族の対話に参加し、国家の憲法制度を共同で発展的に策定し、市民の基本的権利と自由を全面的に保障するように呼びかける。

10) 中口は網状パートナー外交を進める事を支持し努力する。主要20カ国G20・ブリスクス(BRICS)・上海協力機構(SCO)・中印協力など重層的で柔軟なパートナー外交メカニズムが高い効率を上げている。G20は国際経済協力の主要フォーラムであり、仕組みを強化し効率を高め

サンクトペテルブルグサミットの諸決定を実行に移し行く用意がある。

ブリックスのメカニズムが成功裡に発展し、国際的影響力が拡大し続けている事を歓迎し、ブリックス加盟国が多方面の協力を発展させ世界経済ガバナンス分野で重要な役割を果たす事を確信する。ブリックスの枠組み内で緊密なパートナーシップを築き、世界の経済・金融や国際政治など幅広い分野で協調・協力する仕組みとなるべきである。

中口は、上海協力機構（SCO）は構成国の投資環境を改善し、地域経済協力を一層発展させ、実業界間の連携を強化する事が優先任務であると主張。同時にテロ・分離主義・過激主義・武器密輸・麻薬不法取引・国際犯罪組織の取締り、国際的情報セキュリティの保護などSCO枠組内の協力を重視し、SCO地域対テロ機関を基に各構成国の安全への挑戦・脅威に対応するセンターを作り、麻薬取締の機能を付与する必要を確認する。

11) 中口は、ユーラシアを一体とする協力のプロセスが国境の無い地域経済・人文空間の建設促進で重要な役割を果たし、地域経済の発展保障・地域の安全と安定を強化し、ユーラシアのアジアと欧州の一体化プロセスの相互補完性と効果に重要であると強調する。ロシアは中国のシルクロード経済帯建設イニシアチブが重要なことと確認し、その策定と実施過程でロシアの利益が配慮されていることを高く評価する。双方はシルクロード経済帯と今後設立されるユーラシア経済同盟とのコラボレーションの可能性や一致点を探し、地域の交通インフラの共同開発など両国の主管官庁の協力を推進する。

中口は、アジア太平洋地域の国際実務上の潜在力が日増しに増大している事を踏まえ、同地域各国の合法的利益の保護及び国際法の規範と原則の順守を基に全面性・透明性・平等・安全に関して、その発展に必要な持続可能な協力構造を築かなければならない事を確認する。

中口は、東アジアサミットやASEAN地域フォーラムなど多国間地域対話と協力メカニズムへの協力を深め、東アジアサミットの戦略フォーラムとしての機能を強化する為に一層努力する。同時に公開・公平・互惠と各地の要請を基に築かれたアジア太平洋経済協力会議（APEC）が地域の経済の一体化を進める有効な仕組みであること確認する。双方はAPECの枠組みの下で協調協力を強め、アジア太平洋地帯経済成長と繁栄を共同で推し進める事を約束する。

中口は、アジア相互協力信頼醸成会議（C I C A）枠組の下で協力を深め、C I C Aは同地域の平和と安全を守る問題で対話を進める有効な仕組みであり、ロシアは2014～2016年中国が議長国を務める事を歓迎し、各分野の信頼醸成措置を実行する為の中口一層の協力を促す原動力が与えられたと信じている。双方はC I C Aの枠組み内で安全保障構造の整備とアジア太平洋地域の安定と発展で一致してイニシアチブを押し進めていく。

中口は、アジア欧州会議（A S E M）がアジアと欧州の政治対話・経済・貿易分野の協力、社会と人文などの分野の交流を促進する重要なプラットフォームである事を確認し、協力してA S E Mの作業効率向上を図る事を願っている。

最後に、中口が築いた新しい国家関係は、一段と大きく発展する展望が開かれて居り、全面的・平等・相互信頼に基づく戦略的協力パートナーシップをより高いレベルに引き上げ、双方が核心的な利益を守り、公正で調和した安全な世界を築いて行くための大事な要素であると確認する。

通信欄

第2回海江田会長を囲む昼食会（頤和園溜池山王下店）が18名の参加者を迎え盛況裡に親密な語りいと美味しい料理を堪能しました。次回も秋口の適当な日時に同中華料理店で開催する予定です。

新入会員：1) 夏晨峰 早大院生 推薦者 中村陽理事
2名 2) 佐藤和夫 “ 佐藤明会員

- 以上